

8-1-5 道路会社業務検討WG (NEXCO)

1. 道路会社業務検討WGの概要

(1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化/具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

(2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員または支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した業務効率化や合理化等の課題に取り組んだ。

設計や施工管理員の人員不足に加え、働き方改革の影響もあり、NEXCO業務の効率的執行や、より少ない人員での安定した業務遂行が大きな課題となっている。

(1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 施工管理員育成

新規施工管理員の育成について、NEXCO職員向け研修への参加を実現していただいた(3会社共通)。

b) 橋梁基本設計

特に橋梁の基本設計の内容についてはNEXCO3会社と建コン協で調整し、付属物設計の簡略化等について合意に向けて調整中である(3会社共通)。

c) 遠隔臨場

遠隔臨場実施要領を策定していただいた(3会社共通)。

d) 働き方改革

ウィークリースタンスはかなり遵守されるようになった(3会社共通)。

e) 設計ミスの顕在化

数年前の設計ミスが工事実施段階で顕在化し、NEXCO事業の進捗に大きな影響を与える事

象が複数発生しており、建コン協としても設計ミスの撲滅に各社対応している(3会社共通)。

(2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 耐震補強設計

不調不落は減少したが、NEXCO業務に支障をきたす可能性があるため、改善について議論を継続中。

b) 施工管理業務

将来的な人員不足の更なる進行及び建設業界の働き方改革の本格化に対応するため、業務簡略化や書類削減等、業務効率化推進について議論を進めている(3会社共通)。

c) 照査業務

設計ミスを減らすための施策として、設計行為完了後、設計会社のチェック期間及びNEXCO側のチェック期間を併せて2か月を確保し、その後に納品する制度を導入していただいた(3会社共通)。

(3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会を開催した。

a) 貸与資料の迅速化

設計業務開始後、速やかに設計に必要な資料を設計会社宛に送付することをさらに周知していただいた。

b) 複雑な施工計画や交通規制計画への対応

改築や拡幅など高速道路現道との近接施工が多く、緻密な施工計画等が要求されているため、施工計画要求内容の明確化や、業務管理スケジュールのあり方について議論した。

3. 次年度の活動について

次年度は、設計ミスを減らすための2か月の照査期間の有効性の検証を行うと共に、更なる設計ミス低減策について議論を進める。働き方改革の過渡期であるため、今後の在り方について対策を継続する。施工管理員については管理技術者の不足が懸念されており、アンケート調査を踏まえて対策を検討する。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長

秀島 哲雄)